





**くぼた あやの**  
**窟田 彩乃**  
中京大学  
現代社会学部3年生

【インターン期間】2022年8月3日(水)～9月28日(水) うち21日間

■以前、ゼミでNPOの活動を見学、体験させていただく機会があり、NPOに興味を持つようになりました。そこで、私の地元

である富山ではどのようなNPOがあるのか、どのような活動をしているのかに関心を抱くようになり、夏休みを使いこの活動に参加しました。

今回は、まちなかサロンに登録されている団体さんの活動をより多くの人に知ってもらうためのフリーペーパー作成プロジェクトを担当させていただきました。延べ40団体に取材交渉のためのメールや電話でのやりとりなどを行い、社会に出たときに役に立つ経験をさせていただきました。また、実際に11団体にインタビューをしたり、イベントに参加したりなど普段関わることのない多くの世代の人と関わることができました。そこで、人とのつながりの大切さを改めて感じることができました。

しゃるのか課題を見つけたり、人と人のつながりがうまれるにはどのような仕組みづくりが必要なのか学んだりしたいと思い参加させていただきました。

今回のインターンを通して、窟田さんと協力してフリーペーパーという一つの形になるものを残せたことが自分にとってとても大きいなと感じています。自分ができることを試すことができましたし、なによりも人の輪が広がっていくことを実感することが自分の充実感にもつながったと思います。まちスポのスタッフの皆さん、私やまちスポを訪れる方々に温かく接してくださいました。技術面的なことだけでなく、社会人としてこれから生きていく上で学ぶことが多くあり、充実したインターンシップ期間となりました。



**とみた かりん**  
**富田 果琳**  
富山大学  
芸術文化学部3年生

【インターン期間】2022年8月9日(火)～9月29日(木) うち14日間

■授業がきっかけで、NPOの活動に興味を持ちました。将来やりたいことは、地域の方たちと携わるお仕事なので、まちスポでの活動を通して、市民の方たちがどんなことに困っているらっ

まち  
ス  
ポ  
の  
窓



食欲の秋!  
美味しいもの食べるぞ!  
加藤



急に寒くなりました。  
ボキボキ整体に行きたい!!  
中川



季節の変わり目、  
体調管理しましょう。  
カスティーロ

## 9月のホームページ更新

<http://machispo.org>



- 会報103号 <http://machispo.org/kaihou103/>
- 2022年10月まちスポイベント情報 <http://machispo.org/202210event/>
- 第2回魅力的な求人のつくり方実践セミナー開催のお知らせ <http://machispo.org/activity/machidukuri-2/kyujinseminar2022-2/>
- 第11回スキマ研究会 ●「もったいない」から「ありがとう」へ <http://machispo.org/sukima11/> <http://machispo.org/foodbank/>

2022年10月15日発行(通巻104号)

発行:認定NPO法人 まちづくりスポット 発行者:竹内 ゆみ子 編集:五十嵐 浩子  
〒506-0025 岐阜県高山市天満町1-5-8 フレスポ飛騨高山内 TEL 0577-62-8550  
事務局休館日:毎週火曜(火曜祝日の場合は水曜)年末年始

FAX 0577-62-8580 E-mail: [info@machispo.org](mailto:info@machispo.org)

毎月の事業報告!

2022.10.15 October

会報 **Machispo Vol.104**

芸術の秋がやってくる

Since 2012.3.4



実施期間:2022年8月13日(土)～9月30日(金)

支援者数:153名

支援金額:794,000円(122%)



## 「ひだスキマ白書」 クラファン終了報告

たくさんの皆様に支えていただき無事、目標達成する事ができました!ご支援、応援を頂いたみなさま本当にありがとうございました。完成した白書は11月以降に開催する勉強会にて参  
加いただく皆様に配布いたします。お楽しみに!

## 第10回 まちスポ飛騨高山 |スキマ|研究会 「スキマ時間の活用術」

今回は、お互い様の活動をされている「コープぎふ・おたがいさまひだ」から村中美耶子様、「活エネルギーアカデミー」から澤秀俊様、「ヒダスケ!」からながいしともき様にスキマ案内人として登壇いただきました。後半の参加者も交えたディスカッションでは、ボランティアへのネガティブな考え方を払拭しポジティブな仕組みづくりを目指すという点や自助・公助・共助のなかで公助を待つだけでなくこの地域における多様な共助の創造の必要性、活動の中で感じるスキマ、社会システムの中での線引きの難しさについて話されました。

開催日:2022年9月22日(木)19:00～20:30

主催:認定NPO法人 まちづくりスポット

場所:まちスポ飛騨高山およびZoom

参加者数:現地参加者 8名  
オンライン参加者 8名



## 遺贈寄付勉強会

「遺贈寄付」ってなに?~遺贈寄付を知る90分~

※「遺贈寄付ウィーク2022」全国同時開催企画

9月13日は「国際遺贈寄付の日」。この日にあわせて日本各地で遺贈寄付をより知ってもらい、理解を深めて遺贈寄付の準備を推奨するキャンペーンが行われました。まちスポも飛騨地域のNPO団体等と共に、遺贈寄付の勉強会を9月14日に開催しました。前半はオンラインの中継で三浦美樹さん(一般社団法人日本承継寄付協会 代表理事／司法書士)より、遺贈寄付を行なう人・考える人が大切にしている気持ちを学びました。後半は古里圭史さん(グラスルーツアカウンティングファーム代表・公認会計士／税理士)より飛騨地域で遺贈寄付をNPO団体等が受けける時の注意点や寄付者から寄せられる期待、その想いに応える責任のお話もありました。

まちスポでも様々な専門家と連携し、地域の団体へご相談があ  
った場合に寄付者の気持ちに寄り添えるように、引き続き遺

開催日:2022年9月14日(水)13:45～15:30

主催:認定NPO法人 まちづくりスポット

共催:一般社団法人全国コミュニティ財団協会

開催場所:まちスポ飛騨高山およびZoom  
参加者:9名



贈寄付の勉強をしていく機会を作っていくたいと思います。ご興味ある方はお問合せください。

# 飛び出せ★元気市民 たかやま



飛騨高山受け入れ農家組合

わかばやしさだお  
**若林 定夫さん**

もつとたのしい  
トマトづくりを

今回は、高山市丹生川町「トマトの村」で、農業の魅力・飛騨高山の魅力を10日間の農業体験を通じ大学生に伝えていくワーキングホリデーin飛騨高山（以下、ワーキングホリデー）について、宿儕かぼちゃ研究会会長株式会社宿儕さま代表取締役の若林定夫さんを取材しました。

## 少しでも人手不足を解消したい

ワーキングホリデーは、高山市丹生川町の農家で行われており、大学生を対象に毎年8月～10月の期間に10日間の農業体験ができるプログラムです。全国の大学から年間80名ほど参加しています。学部・学科・学年は様々で、農業に関心のある、飛騨高山に行ってみたい、友達や先輩に誘われて、など動機も多様です。

若林さんは、開催のきっかけとして「農家が一番忙しい時期になんとか人手を確保したいという思いから、始めた活動だ」とおっしゃいました。参加する学生たちは、自ら手を挙げて参加しているため積極性があり、張り合いがあると、嬉しそうに話していました。

## この経験が一生の宝物に

特に印象に残ったのが、ワーキングホリデーを開催するにあたって苦労されたことはありますかと伺ったところ、若林さんは即座に「ない」と答えていたところです。これには、とても驚きました。学生たちの取り組み姿勢について、「（学生が）今まで経験したことのない過酷な作業だと思うが、一生懸命で心配していない」と自信をもって答えています。この言葉から、学生たちは受け入れ農家の信頼が垣間見えた気がします。1年目の受入れで学生たちの真剣な姿勢を目の当たりにして、せっかく10日も過ごすなら少しでも学生たちが飛騨高山に来たことが思い出に残るように温泉や食事会、高山観光などの農業以外の経験ができるプログラムを真剣に考えるようになったそうです。そして、例年参加する学生



はシェアハウスで生活をします。「初対面同士で暮らしの規律をゼロから作って生活する経験と、そこでできた仲間は学生たちにとって財産になる。帰るころには、みんな仲良くなつて、毎年足を運んでくれる学生もいるんだよ」と教えてくれました。

参加した学生にとって、「身に付けた農業の知識・技術だけでなく、暑い時期に農業体験をし、知らない人と10日間過ごすという、一生に一度の経験が心に残り新たな希望になってくれれば」と若林さんは、熱い胸の内を聞かせてくれました。

新型コロナウイルス感染症により、2021度は開催できませんでしたが、今年からコロナ対策をしながら開催しているそう。しかし、コロナ禍での開催はシェアハウスから民宿へ変わるもの、自由なコミュニケーションが少なくなってしまい残念だと若林さんはおっしゃっていました。

## 今後の展望

「2015年から続いているこの活動を、さらに発展させていくために、多くの農家が参加できるような場所づくりや、学生が多く泊まれる場所の確保をしていきたい。また、地域の魅力を、このワーキングホリデーを通じて全国に発信していく」と今後の展望をお話しさされました。

この記事を見ている大学生、来年こそぜひ友人と一緒にいかがですか？とても長い夏休み暇していませんか？あなたの一生のなかで忘れられない体験になること間違いなし。



## ご連絡はこちらまで

### ▼まちスポ飛騨高山

〒506-0025 岐阜県高山市天満町1-5-8(フレスボ飛騨高山内)  
TEL: 0577-62-8550 FAX: 0577-62-8580  
E-mail: info@machispo.org HP: http://machispo.org

### ▼まちスポとやま

〒930-0083 富山県富山市総曲輪4丁目4-3(総曲輪レガートスクエア内)  
TEL: 076-461-3332 FAX: 076-461-3359  
E-mail: toyama@machispo.org HP: http://machispo.org

# まちスポ周年祭 バルーングリーティング

フレスボ飛騨高山10周年記念イベントでCertified Balloon Artist(世界公認バルーンアーティスト)のオレンジベアーによるバルーングリーティングを開催しました。

フレスボ各所を練り歩きながら1人1人違う形のバルーンアートをプレゼント。細長いバルーンが様々な形に変わっていくことに大人も子供もくぎ付けの1時間でした。受け取ったバルーンを片手に笑顔いっぱい手を振ってくれた子供達。

11月12日(土)・13日(日)に開催するフレスボ飛騨高山10周年感謝祭のステージイベントにもバルーンアートショーで出演してくださいますのでお楽しみに。



開催日：2022年9月24日(土)13:30～14:30

主催：フレスボ飛騨高山10周年実行委員会

企画：認定NPO法人まちづくりスポット

運営：株式会社一善

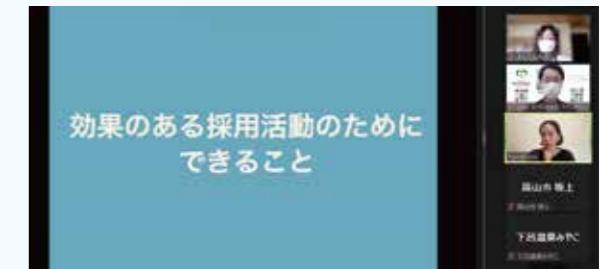
参加人数：74名

# 2022年度 魅力的な求人の 作り方実践セミナー



まちスポが管理運営する飛騨地域総合移住サイト「グッとくる飛騨」のアクセス数はコロナ以前より3倍以上に増えています。地方移住の関心が高まっている兆を感じる中、UIJターン受け入れを検討する飛騨地域事業者に向けた人材採用手法、飛騨地域求人特集ページの案内セミナーを開催しました。講師にWEBコンサルタント・浅井葉月氏を招き、昨年の最新の採用成功事例、採用方法、求人広告、そして社内の内部環境改善の秘訣を成功・失敗事例を交えながらお伝えしました。

次回は10月25日(火)16時30分から1時間、「関係人口やUIJ



主催：飛騨地域連携協議会

運営：認定NPO法人まちづくりスポット

開催日：2022年9月21日(水)14:30～16:30

参加者：7社7名

開催場所：Zoom

ターン希望者と自社との接点の作り方」をテーマに開催します。ご関心ある飛騨地域事業者様は事務局にお問い合わせください。

# ワーキングホリデー in 飛騨高山 を終えて



新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて2年ぶりの開催となった「ワーキングホリデーin飛騨高山」。過去の開催では、シェアハウスでの共同生活を行っておりましたが、今年は地域の民宿を利用させていただくなど、感染対策を徹底しての実施となりました。今回は、全国様々な大学から21名の大学生が参加しました。9泊10日の研修では、トマトの収穫等の「農業の技術の学び」はもちろんのこと、受入れ農家や参加学生との交流から「飛騨での楽しい時



主催：飛騨高山受け入れ農家組合

協力：高山市、認定NPO法人まちづくりスポット

間」が沢山得られたことだと思います。飛騨と若者をつなぐ役割として、今後もこの活動を支援していきたいと思います。